

科目名	スポーツ自由研究D							年度	2026
英語科目名	Sports training practicum D							学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	田原	教員の実務経験		有	実務経験の職種		パーソナルトレーナー		

【科目の目的】

スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、その実態や動向を明確にして、その意味・本質など見極め理解を深めることを目的とします。
 今後社会に出て、スポーツ関連業種で働くために、裏方の存在を知ることと、スポーツに求められていることを理解できるようになることがねらいです。

【科目の概要】

スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。

【到達目標】

学生が1つの事柄の成功に向かって、準備～撤収までを協力して行うことを目標にしています。①体育祭などを通じて業務・運営を行い、成功に導くことを目標にしています。②スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行い、スポーツの理解を深めることを目標としています。

【授業の注意点】

授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。体育祭は学校全体の行事です。科目履修としてだけでなく、学内活動の参加として積極的に行動して下さい。
 スポーツ自由研究Bを取得した学生は、グループをまとめるなどリーダー的な役割を担ってまいります。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	目的に沿った企画をしっかり考案できる		目的に沿った企画を概ね考案できる		目的に沿った企画の一部を考案できる
到達目標 B	自主的・リーダーシップを発揮し運営業務遂行		自主的に発揮し運営業務遂行		言われた事は運営業務遂行
到達目標 C	全体を俯瞰し、皆と連携-協力しながら積極的に遂行できる		皆を連携-協力しながら遂行できる		皆を連携-協力を意識して遂行できる
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

特になし

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポート

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツ自由研究D			年度	2026
英語表記		Sports training practicum D			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	概要理解	1 スポーツイベントの概要	スポーツイベント概要	2	
2	企画立案	企画	1 企画立案	目的に応じて企画立案	2	
3	企画立案	企画	1 企画立案	目的に応じて企画立案	2	
4	企画立案	企画	1 企画立案	目的に応じて企画立案	2	
5	企画立案	企画	1 企画立案	目的に応じて企画立案	2	
6	企画準備	事前準備	1 準備	実施における事前準備（連携-協力）	2	
7	企画準備	事前準備	1 企画立案	実施における事前準備（連携-協力）	2	
8	企画実行	運営	1 企画立案	イベント実施	2	
9	企画実行	運営	1 企画立案	イベント実施	2	
10	企画実行	運営	1 企画立案	イベント実施	2	
11	企画実行	運営	1 企画立案	イベント実施	2	
12	企画実行	運営	1 企画立案	イベント実施	2	
13	企画実行	運営	1 企画立案	イベント実施	2	
14	企画実行	運営	1 企画立案	イベント実施	2	
15	まとめ	振り返り	1 企画立案	PDCAを基に振り返り、次につながる案を出す	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等